

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。)

ユニット名: グループホームやっこそう

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価			
			実践状況	実践状況及び 次のステップに向けて期待したい内容			
			実践状況	西森委員	徳弘委員	健康福祉課	やっこそうまとめ
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>玄関・事業所に理念を貼って、ご家族や来所者に理解をしていただくとともに、職員会などで徹底することで、全職員が理念を共有できて、日々の業務で実践している。</p>	<p>自己評価の通り出来ていると思う。</p>	<p>実践していれば良いと思います</p>	<p>引き続き支援をお願いします。</p>	
2	(2)	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防の為地域の方々の交流は十分に行えていないが散歩時近所の方と一定の距離を保ち少しの間お話しをしている。地域の一斉清掃には参加している。</p>	<p>自己評価の通り。 (地域行事にも参加しています。)</p>	<p>コロナが収束するまで今のままで良いと思う</p>	<p>事業所自体が地域の一員として交流できるよう、これからも引き続き支援をよろしくお願いします。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防の為以前の様な地域交流へ参加し地域の方々との認知症への理解が深まるような話が参加が難しく実施できていない。</p>	/	/	/	/
4	(3)	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は新型コロナウイルス感染予防の為、引き続き書面での会議となっているが、報告のみとなっている、意見を出していただけるような工夫が出来ていない。</p>	<p>コロナ禍のため仕方ないと思う。書面でも内容は解ります。</p>	<p>コロナが収束しなければ書面で良いと思います。次のステップに向けて行事は写真をのせていただければ利用者様子が分かり良いと思います</p>	<p>意見が少なければ「自由筆記ではなく設問形式」等意見の聞き取り方に工夫が必要ではないでしょうか。対面会議でも「意見をサービスも質の向上に活かす」を視点に進行方法等も検討してください。</p>	<p>行事の写真については、運営推進会議を開催の場合は見て頂いていたのですが、書面会議の配布はプライバシーに考慮し添付しておりませんでした。設問やアンケート形式に</p>
5	(4)	<p>○市町村との連携</p>					

		市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ケアマネージャー勉強会等に参加し意見交換を行い町担当者と相談しやすい関係づくりに努めている。		続けて下さい	引き続き支援をよろしくお願いします。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人全体で3カ月に1度身体拘束廃止適正委員会を実施し、勉強会を行い職員全員で共有している。やっこそう内においても3カ月に1度勉強会を行い日頃のケアについての見直し話し合いを行っている。	自己評価の通り実施されていると思います。	続けて下さい	引き続き支援をよろしくお願いします。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者の虐待の勉強会に参加し学んだことを共有し全職員が理解している。また日頃の利用者への声かけや接していく中で権利が守られるような支援を行っている。精神的虐待に繋がらないよう言葉使いにも注意を払っている。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する勉強会に参加している。そこで学んだことを職員全員で共有理解している。			
9		○契約に関する説明と納得	契約締結 契約内容変更の際			

		契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	大抵の事柄。大抵の事柄の際には、家族に書面にて説明を行い理解と納得をしたうえで契約している。その際、不明点等何でも尋ねてもらえるように心がけている。				
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月ご家族へ送る手紙に意見を返送出来る欄を設けているが返信は少なく来所時や電話にて意見や要望等を聞くようにしているコロナにより直接会っての面会は厳しくガラス越しにて面会を行っている。		続けて下さい	ガラス越しの面会においても、入所者の顔や姿を直接見られることはご家族にとり、安心感に繋がると思っています。来所や電話等での意見に対し、運営に反映させたものはありますか。 次のステップに向けて入所者全家族から意見の聞き取りが出来ていないのであれば、3か月に1回程度(モニタリング時)は、その機会を持ち、「サービスの質の向上」に反映させていただきます。	ガラス越しの面会時は、ガラス越しの為、聞こえづらいため、スマートフォンを使用しながらの面会もしています。 プラン作成時(年1回)には意見の聞き取りを行ったり、ご家族が来所されたときに日頃の様子をお話していますが、3か月に1度のモニタリング時には出来ない為今後はしていき
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会でだけでなく日頃から利用者との関わり方で気づきやケアをより良いサービスを提供できるように話し合い取れ入れている。介助量も増えてきている中で職員間で意見を出し合い業務の時間割等を組んでいる。		続けて下さい	職員が意見を提案しやすい環境づくりはとても重要です。引き続きよろしく申し上げます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課の際に職員と面接をして個々に見合った評価となっているか確認しその待遇に反映させることで各自のモチベーション向上に努めている。				
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体病院または法人内で行われている研修や勉強会に参加している。また外部の研修へも感染対策を行いながら参加出来ているが少ない。				
14		○同業者との交流を通じた向上					

		代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍の影響で直接交流し意見交換は出来ていないがメールや電話 オンラインを活用し連絡を取っている。				
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に基本情報や生活歴を把握すること本人の趣味や得意な事も聞き入居後も取り組める環境をつくり本人、ご家族が安心して入居してもらえるように努めていくとともに困りごとや不安を取り除き関係づくりを行っている。				
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事業所見学、契約締結の段階でご家族の困りごとや不安なことや要望を聞き取り信頼関係づくりを行っている。				
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前後に希望するサービスを聞き取りし協力医、併設特別養護老人ホームの相談員ケアマネージャーと一緒に対応して、地域の活動やリハビリテーション等の利用が行えるように努めている。				
18		○本人と共に過ごし支えあう関係	職員が利用者ひとりひとりの性格、能力把握し簡単な家				

		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	事を一緒に生活していく環境づくりをしている。また花が好きで水やりや花植えを一緒に行う事が難しい方もその場で				
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	新型コロナウイルス感染予防の為直接の面会や行事の参加を行えていないが差し入れを預かったりご家族の手紙へ写真を添えてお送りしたり窓越しの面会を行っているご家族が来所時や電話で個々の状態を話し合っている。				
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の為以前の様に直接触れ合える交流は出来ていないが季節感あふれる町内の場所には感染対策を行いながらドライブへ行かれています。		良い事だと思います。 続けて下さい	現在行っている「町内ドライブ等」は、どのくらいの頻度で行っているか、追記すれば分かりやすいと思います。(個人差はあると思いますが、「1月に1回程度」等)評価NO49との整合性を考慮すれば、「現状は、コロナ禍で実施出来ない又は「コロナ禍で〇〇程度に減っているが、落ち着けば、どれくらいの頻度で実施する」の追記が必要ではないでしょうか。 次のステップに向けて コロナが解消すれば、引き続きよろしくお願ひします。	真夏・真冬は避けて 時季ごとに行っています。感染状況に配慮してコロナが落ち着けば出来るだけ多く増やしていきたいと思っています。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者ひとりひとりの性格や状況に合わせた環境づくりをして時に橋渡しや話題の提供を行い利用者同士の関わり合いを支え合えるように支援に努めている。				
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院他施設への入所により契約が終了することがあるがその後の状況を聞いたり今後も関係を断ち切らないように努めている。				

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者との会話から思いを汲み取る努力をして聞き把握した内容はモニタリングかカンファレンスで検討しケアプランに反映させている。</p>		<p>続けて下さい</p>	<p>引き続きよろしく申し上げます。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時から入所されてからも本人と家族との会話の中で把握していくように努めている。</p>				
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者の太陽や心身の変化を観察して早期発見に努め変化があれば家族や関連する機関に連絡し相談している。</p>				
26	(10)	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>担当職員によるアセスメントを行いカンファレンスし検討しケアプランに反映している。モニタリングには日々の記録から変更点の関知徹底行っている。</p>		<p>い 続けて下さ</p>	<p>引き続きよろしく申し上げます。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランの見直しに生かしやすいように沿った記録記入を行い職員間の情報共有に努めている。</p>				
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p>					

		本人や家族の状況、その時々 に生まれるニーズに対応して、 既存のサービスに捉われない、 柔軟な支援やサービスの多機 能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて 通院等を柔軟に支援してい く個々の満足度を高めるよう 努めている。				
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えて いる地域資源を把握し、本人 が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむ ことができるよう支援してい る	地域資源を把握して、地域 の方々との交流を図り、利用 者の希望を聞き周りの環境 を生かして、生活出来るよう に取り組んでいる。				
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希 望を大切に、納得が得られた かかりつけ医と事業所の関係 を築きながら、適切な医療 を受けられるように支援 している	入所申し込み時に協力医に 説明を行い他にかかりつけ 医がある場合にはそれに 応じた対応をしている。 協力医をかかりつけ医に した場合には月1回の定期 受診診療を受けている。 入所時にかかりつけ医の 取り扱いについて説明し ほとんどの利用者が協力 医をかかりつけ医として 月1回の定期受診診療を 受け職員が代行している。 連絡ノートや文書で医 療機関と情報共有し受診 結果は家族に報告してい る。		良いと思います。 続けて下さい	引き続きよろしくお願 いします。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中 でとらえた情報や気づきを、 職場内の看護職や訪問看護 師等に伝えて相談し、個々 の利用者が適切な受診や 看護を受けられるように 支援している	週に1度訪問看護があり、 利用者の状態を伝えて相 談をしている。その日以外 は電話で連絡相談を行っ ている。必要に応じて採血 や点滴・注射にも来て もらっている。				
32		○入退院時の医療機関との協働					

		利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	出来るだけ早期退院が出来るように病院関係と情報交換を行っている。退院時期は病院関係者と家族を交えて決めている。				
33	(12)	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所契約時に見取りに対する指針を説明している。終末期のあり方については本人を支えてかかりつけ医と家族と話し合いその際に改めて施設で出来ることを説明して方針を決定して共有している。入所時に見取りの扱いについて説明し重度化時には状態に応じて協力医や訪問看護本人家族と方針を協議し意思確認とっている		良いことだと思います。	引き続きよろしく申し上げます。	
34		○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日頃から全職員が実践力を身に付ける様に、定期的に話し合いを持ったり繰り返し訓練を行っている。日々の体調管理や観察を行い話し合いや実技訓練を行っている				
35	(13)	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	高吾北消防署立ち合いのもと利用者参加の訓練を年2回と自主訓練を行っている。併設施設との協力体制は出来ているが、地域の方への参加の依頼は、コロナ禍で感染対策の為行えていない。	施設内では自主訓練が計画通り行われている。(2回位見学したことがある) <u>次へのステップに向けて</u> 今後共災害を想定して訓練してほしいと思う。	収束すれば協力していきたいと思います	災害時発生時、施設・地域ともに、互いのつながりはとても重要です。コロナが落ち着きましたら、地域と協力体制が取れるようお願いいたします。	日中想定のみならず夜間想定や水害・地震等を想定し対策をしていきたいと思ひます。感染対策をとりつつ地域の方々との交流を増やしていきたいと思ひます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○ 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者ひとりひとりの人格を尊重しプライバシーを損ねないような声掛け、人生の先輩としての対応を心掛けている。	<u>次へのステップに向けて</u> これからも自己評価通り心掛けてください。	続けて下さい	引き続きよろしく申し上げます。	
37		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援	日々の生活の中で利用者ひ				

		日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ひとりひとりの思いを尊重し希望も表し選択できる環境づくりを心掛け、自己決定が出来るようにサポートを行っている。				
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意見を聞き本人が望む生活が送れるように規制のない自由な生活が送れるように支援している。				
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服の選択や散髪 等本人の思いや気持ちに沿っての支援を行っている。				
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	施設では昼食づくりを行っており旬の食材を使った料理を提供している。またお楽しみ会やお誕生日会等のイベントごとでは利用者の食べたい物のリクエストを聞いて提供している。		続けて下さい	引き続きよろしく申し上げます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事・水分摂取量を記録している。個々の嚥下や租借状態に合わせて調理方法や盛り付けを工夫している。また水分摂取量が少ない方には水分ゼリーを提供し補っている。				
42		○口腔内の清潔保持					

		口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の口腔内の状態把握して毎食後口腔内の清潔保持に努めている。必要に応じて歯科医師受診を行っている。				
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自立した排泄が継続出来るように個々の排泄パターンやリズムの把握を行い適時声掛け等を行うことでトイレでの排泄が継続出来るように努めている。		続けて下さい	引き続きよろしく申し上げます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防の為に食物繊維の多い食材を献立に取り入れ本人の租借・嚥下状態に合わせ提供している。毎日体操等を行っている。排便表を作成し排便リズムを把握し腹部マッサージも行い便秘予防に努めている。				
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の希望を聞きなるべく希望した日時に入浴が出来るように配慮している。			引き続きよろしく申し上げます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や生活習慣に合わせて休息したり日中の活動時間を増やし夜間睡眠を十分にとれるように支援している。				

47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方箋の種類や効果を把握し、新しく薬が処方された際には、副作用や服薬後の状態を確認し、医師と連携を行っている。誤薬防止の為、服薬時職員2人で確認し渡している。</p>				
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者ひとりひとりが自分のペースで自由に生活出来るように支援行っている。それぞれの趣味や特技を生かした支援に努めている。</p>				
49	(18)	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>コロナ禍の為遠出や外出が難しいが施設周辺の散歩や町内の紅葉などを見に行く等制限された中でも支援は行っている。</p>	<p>自己評価通りと思う。</p>	<p>続けて下さい 次のステップに向けて コロナが収束すれば計画通り実施して 欲しいです</p>	<p>戸外で過ごすことは、利用者にとり気分転換やストレス発散に繋がると 思います。引き続きよろしく お願いします。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人で管理している利用者はいない。ご家族から預かったお金で本人の希望に応じて職員が代わりに買い物を行っている。</p>				
51		<p>○電話や手紙の支援</p>	<p>本人の希望がなければいつで</p>				

		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	平八の布差がのれいはいつても電話をかけることができる。ご家族との手紙をやりとりする利用者もおりプライバシー保護に留意している。				
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間場所は環境整備を行い利用者の混乱や不快感がないように努めている。季節感を感じられるような装飾や毎月のカレンダーに工夫をしている。			引き続きよろしく申し上げます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになったり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者同士で過ごせるような配置を考えている。日が良くあたる場所で日向ぼっこをされたり、花壇だけでなく廊下にもプランターに花を植えて置き天候関係なくいつでもみれるようにしている。				
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族と相談して居室には使い慣れた家具や道具、好きな物を持参してもらい、本人が安心して居心地良く生活出来るように努めている。			引き続きよろしく申し上げます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口には名前を掲示し、利用者に応じてトイレや浴室に表示をして混乱の無いようにしている。居室の家具の配置も個々の利用者に合わせて設置している。				